

流行性角結膜炎(はやり目)が急増!



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	→ 3	3	百日咳	→ 1	1
RSウイルス感染症	↓ 2	4	ヘルパンギーナ	↓ 123	158
咽頭結膜熱	↑ 10	8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓ 29	43
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓ 34	41	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 275	319	流行性角結膜炎(はやり目)	↑ 53	36
水痘	↓ 9	19	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↓ 276	392	無菌性髄膜炎	↓ 2	4
伝染性紅斑(りんご病)	↑ 28	21	マイコプラズマ肺炎	↑ 7	3
突発性発しん	↑ 38	37	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 0	0

報告が多い感染症

- 手足口病
- 感染性胃腸炎
- ヘルパンギーナ

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

感染性胃腸炎 : 菊池
 手足口病 : 菊池、熊本、山鹿、八代、天草、宇城、水俣、有明
 伝染性紅斑 : 菊池、人吉
 ヘルパンギーナ : 菊池、天草、宇城
 流行性耳下腺炎 : 人吉
 流行性角結膜炎 : 有明

保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所			4	14	41	1	114	4	12		35	4		38		2	7		
山鹿保健所	1				27		12		2		1		*	*					
菊池保健所			2	5	67		63	7	8		30	2		2					
阿蘇保健所					1							2	*	*					
御船保健所					11	1	6						*	*					
八代保健所	2			2	25		20	5	3		11								
水俣保健所		1			3		7	1	2		3		*	*					
人吉保健所				1	7	6	2	3	3		1	12	*	*					
有明保健所			2	5	71		17	1	6		12	9		13					
宇城保健所		1	1	2	17	1	15	4	1		11		*	*					
天草保健所			1	5	5		20	3	1		19								
計	3	2	10	34	275	9	276	28	38	0	123	29	0	53	0	2	7	0	0

年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	10	0	1	3	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34	0	0	0	1	4	5	5	5	5	5	0	1	0	3						
感染性胃腸炎	275	8	46	41	26	19	30	24	18	11	6	6	15	5	20						
水痘	9	0	0	1	0	1	2	2	1	1	0	1	0	0	0						
手足口病	276	2	23	96	67	29	20	14	10	9	4	0	1	0	1						
伝染性紅斑	28	0	1	1	5	1	1	8	3	0	5	2	1	0	0						
突発性発しん	38	0	18	17	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	123	1	15	47	29	12	6	1	4	3	3	0	1	0	1						
流行性耳下腺炎	29	0	0	3	3	8	5	4	3	0	1	0	2	0	0						
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	53	0	1	5	3	2	3	1	0	0	0	2	1	1	4	9	3	6	1	11	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
無菌性髄膜炎	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
マイコプラズマ肺炎	7	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

流行性角結膜炎(はやり目)が急増しています

今週の報告数は53件で、7/6~7/12の週以降急増しています。保健所別では、有明が警報レベルを超えている他、7/13~7/19の週の一定点当たりの患者報告数は全国より5倍以上多い報告数でした。

流行性角結膜炎は、夏を中心に発生が多く、年齢では1~5歳を中心とする小児に多いが、成人も含み、幅広い年齢層にみられます。白目の部分が赤くなる、涙が多く出る、目やにが出る、まぶたが腫れる、などの症状が出ます。

両目に症状が出る場合が多いのですが、片方だけのこともあります。ある特定の型のアデノウイルスに感染することが原因で、ウイルスのついた手で目を触ることで感染(接触感染)することが多いので、予防には手洗いが有効です。

感染力が強く、感染した人の使用したティッシュペーパー、タオル、洗面器等からウイルスが広がります。赤ちゃんや小さなお子さんなどでは、重症化することがあります。症状の見られる場合には、早めに医療機関を受診しましょう。

